

配信アルバム「涙腺上のアリア～泣けるクラシック名曲集」リリースのご案内



ナクソス・ジャパン株式会社は、2012年9月28日、涙を誘うクラシック音楽の数々を集めたコンピレーションアルバム「[涙腺上のアリア～泣けるクラシック名曲集](#)」を、音楽ダウンロード配信にてリリースいたします。

本アルバムは、聴いているだけで泣けてくる「涙腺崩壊」系のクラシック音楽を収録したコンピレーションです。世界最大のレパートリーを誇るクラシック音楽レーベルであるナクソス(NAXOS)のカタログの中から、有名無名問わず、涙腺に刺激を与える曲を厳選してセレクトしています。

心に溜まったストレスを解消したり、平坦な日常に刺激をもたらすために、あえて悲しい映画を観たり、失恋を歌ったJ-POPを聴いて涙を流す人も多い昨今。クラシック音楽なら、曲のテイストを自分自身の心情と直接重ね合わせたり、妄想をふくらませて悲劇のヒロイン気分思い切り浸ることが可能です。本アルバムは、心ゆくまでたっぷり涙を流し、すっきりと晴れやかな気持ちを取り戻したいと願う全ての人に向けたコンピレーションです。

アルバムの幕開けは、「涙腺上のアリア」のタイトルの出典元でもある「G線上のアリア」(Tr.1)。“泣かせる作曲家”としておなじみのラフマニノフによる「ヴォカリーズ」(Tr.2)を筆頭に、「アルビノーニのアダージョ」(Tr.13)、「ため息」(Tr.15)、「ペール・ギユント(オーゼの死)」(Tr.18)など、すすり泣きの声まで聴こえてきそうな胸をしめつける曲にも注目です。また、ショパンが故郷ポーランドへの望郷の念を込めたといわれる「別れの曲」(Tr.4)、作曲者と愛人との禁断の恋の日々を綴った「気分、印象と思い出」(Tr.11)など、ほろりとさせるエピソードを秘めた曲も収録されています。夕方のチャイムのメロディとして知られる「新世界より」(Tr.21)は、誰もが郷愁の涙をかきたてられずにはいられない1曲。最後はしっとりしたアレンジの「G線上のアリア(コントラバス編)」(Tr.25)と共にそっと涙をぬぐい、ざわついた心を安らぎの境地に導きます。

【商品情報】

涙腺上のアリア～泣けるクラシック名曲集

●収録曲：

- 1 J.S.バッハ: G線上のアリア
- 2 ラフマニノフ: ヴォカリーズ Op.34 No.14
- 3 モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ第21番 ホ短調 K.304 - 第2楽章
- 4 ショパン: 練習曲第3番 ホ長調 Op.10 No.3 「別れの曲」
- 5 バヴロワ: ピアノと弦楽オーケストラによるエレジー
- 6 ブリッジ: 思い出(ヴィオラとピアノ編)
- 7 ブラームス: 交響曲第3番 へ長調 Op.90 - 第3楽章
- 8 ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 Op.13 「悲愴」 - 第2楽章
- 9 ヴィターリ: シャコンヌ ト短調
- 10 ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ
- 11 フィビヒ: 気分、印象と思い出 - No.151
- 12 ヴォーン=ウィリアムズ: ヴィオラとピアノのためのロマンス
- 13 ジャゾット: アルビノーニのアダージョ
- 14 ヘンデル: 歌劇「リナルド」 HWV7 - 私を泣かせてください(涙の流れるままに)
- 15 エルガー: ため息 Op.70
- 16 ペルゴレージ: スターバト・マーテル - 悲しみに沈める聖母は涙にくれて
- 17 チャイコフスキー: 四季 - 10月 秋の歌
- 18 グリーグ: 「ペール・ギュント」組曲第1番 Op.46 - II. オーゼの死
- 19 クライスラー: プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ
- 20 バーバー: 弦楽のためのアダージョ Op.11
- 21 ドヴォルザーク: 交響曲第9番 ホ短調 Op.95 「新世界より」 - 第2楽章
- 22 マスカーニ: 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」 - 間奏曲
- 23 フィンジ: ロマンス 変ホ長調 Op.11
- 24 リスト: あきらめ S263/S187a/R388
- 25 J.S.バッハ: G線上のアリア(コントラバス編)

●発売：2012年9月28日

●価格：アルバム 900円 (税込) / トラック 150円 (iTunes Store)

●配信サイト：[iTunes Store](https://itunes.apple.com/jp/) / Amazon MP3 (近日開始予定)

●発売元：ナクソス・ジャパン株式会社

<http://naxos.jp> (公式サイト)

<https://twitter.com/naxosjapan> (Twitter) / <http://www.facebook.com/NaxosJapan> (Facebook)

【本件に関するお問い合わせ】

ナクソス・ジャパン株式会社 デジタル事業部

03 - 5486 - 5101 (代表) / info@naxos.jp (Eメール)

ナクソス・ジャパン株式会社



■会社概要

世界的音楽レーベル「ナクソス (NAXOS)」の音源を管理する Naxos Global Distribution, Inc. (代表: Klaus Heymann、本社: 香港) の日本国内での本格的な事業化に伴い、2005年7月、音楽配信サービスを主体とした「ナクソス・デジタル・ジャパン」を設立。2007年、社名を「ナクソス・ジャパン」に変更し、音楽ソフト事業を含めた総合音楽企業として新たなスタートを切る。

商号: ナクソス・ジャパン株式会社
設立: 2005年7月7日
資本金: 20,000,000円
役員: 取締役会長 Klaus Heinz Heyman
代表取締役社長 佐々木隆一
取締役副社長 佐々木順子
取締役副社長 白柳龍一
取締役 Takako Nishizaki Heymann
取締役 Astrid Angvik
所在地: 東京都世田谷区三軒茶屋 2-2-16 YKビル8F
電話: 03-5486-5101
ファックス: 03-5486-5104
事業内容: CD/DVDのディストリビューション、オンライン音楽図書館、
音楽配信事業、ライセンス事業など
ホームページ: <http://naxos.jp>

■ナクソス (NAXOS) レーベル 概要

クラシック、ジャズなどの膨大な音楽コンテンツを保有するレーベル。自らも熱烈なクラシック音楽愛好家であったクラウス・ハイマン(香港在住のドイツ人実業家)によって1987年、「価値合理性」と「消費者本位」を理念にスタート。既存メジャー・レーベルのスター主義では実現できない知られざる名曲の体系的な商品化(=カタログ主義)が大きな反響を呼び、世界中に熱烈な支持者を生み、グラミー賞でも数々の受賞歴を持つ。本年(2012年)、創立25周年を迎える。
